

子どもの自己表現力を育てる待望のDVD登場!

DVD さわやかな自己表現
アサーション・トレーニング
原理と実践



【全4部】小学校向け・中学校向け・高等学校向け・教育関連機関向け

監修・平木典子

●IPI(統合的心理療法研究所) 所長
●我が国におけるアサーション・
トレーニングの第一人者



監修の言葉

最近、自己表現ができない子どもが多くなりました。

このDVDは、先生たちが豊かな発想で、ユニークな自己表現のクラスを創り上げていくプロセスの記録です。子どもたちが自分の思いを生き生きと語り始める姿は、人間はかくも純粋に、素直になれるのだとほのぼのとした気持ちを抱かせてくれます。

アサーション・トレーニング

カウンセリングの一方法として自己表現がうまく出来ない人の訓練の中で生まれました。自己表現の仕方には3つの種類があります。



- 非主張的自己表現(おどおどさん)
- アサーティブな自己表現(さわやかさん)
- 攻撃的自己表現(いばりやさん)

アサーティブな自己表現は自分の気持ちや考えを、率直にその場にあった適切なやり方で表現します。非主張的でもなく、攻撃的でもなくアサーティブな自己表現が多くなることで、お互いを尊重する関係が築かれていきます。また、自分も相手も大切にするアサーションは人権とも関わっています。

さわやかな
自己表現の方法

アサーション・トレーニングは自分も相手も大切にする表現の仕方を身に付ける方法です。自分の気持ちを表現でき、相手に押しつけず、相手の気持ちも受けとめる子どもを育てます。子ども達の中には、発言することが得意な子や不得意な子がいます。不得意な子だけではなく、得意な子にも知ってもらいたいのがこのスキルです。言葉が巧みなだけではコミュニケーションは成立しません。一方的に話されるだけでは聞く方の気持ちは納得しません。得意な子には、相手の気持ちにも心を配ろうね、と教えます。不得意な子には、自分の気持ちや考えを話してもいいんだよ、と教えます。

学校が育てる
子どもたちの生きる力

子どもたちが自分の気持ちや考えを発言できることは集団生活に参加する上で大切です。相手の気持ちや考えを受け止めることで、育ちあい、育てあう本当の集団生活が成り立ちます。子どもたちがさわやかな自己表現を身に付けることが、学校での、学びあう教育機能を高めるのに役立ちます。また自分の気持ちや考えを大切にする、相手の気持ちを受け止めること、を学ぶことは普段の日常生活を生きる上で力となります。学校での取り組みは、子どもたちが日常出会う場面を題材にすることで、どの子にも興味をもって参加してもらうことが出来ます。

新しい人権教育の
一環として

自分も相手も大切にする原理は人権教育の基礎ともなるものです。アサーション・トレーニングはこころの教育であるとともに人権教育の一環としても展開していただけます。また、「いや」と言えないために仲間のいじめにあい続けたりすることがあります。仲間はそれを恐れて「NO」と言えない子どもには「NO」からも人間関係が築かれることを教えます。押し付けの傾向の子どもには、お互いの尊重によって成り立つ関係があることを教えます。アサーションは友だちとの関係を上手に築く方法のヒントともなります。

全国の注目が集まっています

さわやかな自己表現 アサーション・トレーニング 原理と実践 小・中学校用セット【全4部】

このDVDの使い方

初めてアサーションにふれる方は全4部を通してご覧になることをお勧めします。原理編と小学校で展開される「3つの話し方」の特徴についての授業は基本となるものです。また中学校編での各授業はその後の展開のヒントとなるものです。巻末に挙げた関連出版物や研修会とあわせてご活用いただくことをお勧めします。このビデオはどの授業も子どもたちがアサーションから何を学ぶのかを伝えようと制作されました。子どもたちの気付きや垣間見えるしなやかなこころの動きの中から、アサーションをさらに展開するステップへのヒントを汲み取っていただければと願っています。

第1部

原理編 ●約120分 ●本体価格18000円

アサーションについての講義をまとめてありその真髄を学べます。学校教育の一環として展開するためのヒントも豊富です。子ども達がなぜキレるのか、思いやりは育つのか、いじめ・虐待と攻撃的な自己表現との関係にもふれて教育現場の関心事に答えます。子ども達のみならず教師同士や家庭、総ての人達にも伝えたいソーシャル

スキルであることが分かっていただけです。巻末の教師からの質問への答えがそのまま現場での悩みに答えます。

講師/平木典子
協力/浜松市立笠井中学校



第2部

小学校低中学年 実践編 (解説/平木典子) ●約60分 ●本体価格18000円

小学校3年生を対象にした実践例です。「のび太くん」、「ジャイアン」、「しずかちゃん」のキャラクターを使って非主張的、攻撃的、とそのどちらでもないアサーティブな言い方の違いを学びます。子どもたちの生き生きとした気づきが感動的なDVDです。

鈴木教夫

アサーションは、自分も相手も大切にしたい、その場にあった自己表現です。アサーションの精神は、豊かな心を育てる人間教育の基礎となるものです。今のクラスで「ぼくの夢、わたしの夢」という授業を行っています。どの子の夢も尊重されるために、子どもたちがお互いに夢を語り合うときに、アサーションを活かすことを勧めています。相手の気持ちへの想いも芽生えました。今では学年全体でアサーションを取り入れるようになりました。



授業者/鈴木教夫
協力/北本市立中丸東小学校



第3部

小学校高学年 実践編 (解説/平木典子) 【教材用映像付属】 ●約60分 ●本体価格18000円

小学校5年生を対象にした実践例です。まず言葉の大切さに注意を喚起します。教材映像を使って3つの言い方について学びます。「掃除をしない子に注意する」仕方や「喧嘩をする友達仲裁」の仕方をロールプレーによって考えていきます。子どもたちの心のなかでおこるドラマチックな展開と心の成長をうかがわせる貴重な記録です。【教材用映像4編付属】

大野弥生子

五年の一学期早々、担任の私に「クソババア、死ぬ」と言った子がアサーションの授業後に「今日の話を聞いてはくも今度からさわやかになろうとすごく思った」と感想を書きました。私との人間関係は、グループワークを通して出来つつありましたが、アサーションの学習は彼が彼をありのまま背伸びしないで受け入れた学習だったのだと思います。他の子も「いつもは真剣に考えない生活のことははっきり見つめ直すことができる授業だった」と感想に書いていました。



授業者/大野弥生子、小川敏夫 協力/北本市立中丸東小学校



第4部

中学校 実践編 (解説/平木典子) ●約1時間15分 ●本体価格18000円

その1「友だちにほめ言葉のプレゼントをしよう」
中学校3年生の授業です。友だちのよい面を見つけてことばにしてお互いに向き合ってプレゼントします。気持ちを伝える側も受け取る側もアサーティブなやり取りの中で、とっともうれしい印象的な授業となりました。

その2「よく聞くためのコツ」
中学校2年生の授業です。ロールプレーで先生が生徒の話を聞かない役を演じます。それを見て生徒たちが感想を述べ合う中から、よく聞くためにはどうしたらよいかを発見していきます。

その3「さわやかさんで言ってみよう」
中学校1年生の3学期の授業です。生徒たちはすでに3つの話し方の特徴を学び、「よく聞くためのコツ」の授業を受けています。この授業では生徒たちが自分たちで考えたアサーティブになりにくいシチュエーションでの発言の仕方を発表します。人前でセリフを言うのはちょっと照れますが、貴重な経験となりました。

授業者/鈴木智香子
協力/浜松市立笠井中学校

授業者/平野晴之
協力/浜松市立笠井中学校

授業者/三島早苗
協力/浜松市立笠井中学校



推奨

第1部 原理編 は高等学校、大学でもご活用いただけます。

●お問い合わせは

- 全4部 セット価格 72,000円 (本体価格) [ライブラリーセット価格 (全4部) 108,000円 (本体価格)]
- 小学校分売セット (第1,2,3部) 54,000円 (本体価格)
- 中学校分売セット (第1,4部) 36,000円 (本体価格)

企画・制作・著作 **株式会社テレマック**
〒106-0032 東京都港区六本木4-3-11 六本木ユニハウス408
Tel.03-3408-0417 Fax.03-3408-0427
<http://www.telemack.com>
お問合せメール info@telemack.com